

川崎市都市計画マスタープラン

第4編 幸区構想 案

平成 18 年 11 月

川 崎 市

目 次

第1部 まちの現状	4-1
1 幸区の変遷	4-2
2 人口動態	4-2
3 幸区の産業	4-3
4 土地利用からみる幸区	4-4
5 道路と住環境	4-5
第2部 めざすべき都市像	4-7
1 「環境と共に生きる」まちづくり	4-10
2 幸区の特性を活かした 「地域社会と共に生きる」まちづくり	4-10
3 コミュニティを大切にした 「人と人が共に生きる」まちづくり	4-10
4 安全で安心して暮らせるまちづくり	4-10
5 多様な交流、にぎわいのあるまちづくり	4-10
6 新しい産業を創造するまちづくり	4-10
第3部 分野別の基本方針	4-11
都市構造	
1 まちの拠点を育みます	4-12
（1）にぎわいの拠点の形成	4-12
（2）鉄道駅を中心とした生活拠点の形成	4-13
（3）研究開発拠点の形成	4-13
（4）歴史と文化の拠点の形成	4-13
2 豊かな生活を育みます	4-13
（1）地域の特性にあわせた良好な住環境の整備	4-13
（2）密集住宅市街地の改善	4-14
（3）地区コミュニティの核としての地域商店街のまちづくり	4-14
3 水と緑を育みます	4-14
（1）幸区を特徴づける自然環境を活かしたまちづくり	4-14
（2）街なかの水辺と緑の創出	4-14
4 交通を育みます	4-14
（1）生活空間の安全性を高める幹線道路のネットワーク形成	4-14
（2）環境に配慮し、安全に通行できる道路整備	4-15
（3）歩いて暮らせるまち、自転車と共生するまち	4-15
（4）公共交通のネットワークづくり	4-15
（5）安全で安心して歩ける生活道路の整備	4-15
（6）災害時に対応できる道路交通ネットワークの整備	4-16
（7）多様な交流、にぎわいのあるまちづくりを進めるための交通ネットワークの整備	4-16

(8) 他市区との連携	4-16
5 安心を育みます	4-16
(1) まちの防災性の向上	4-16
(2) 誰もが安心して生活できるまちづくり	4-16

土地利用

1 まちの拠点を育みます	4-18
(1) にぎわいの拠点としての川崎駅西口地区	4-18
(2) ものづくり・研究開発機能と多様な交流、豊かな環境を育む新川崎地区	4-19
(3) 地域の生活拠点としての鹿島田駅周辺地区	4-20
(4) 鉄道駅を中心とした生活拠点	4-21
(5) 鉄道駅を中心とした拠点地区等における土地の高度利用と再開発の促進	4-21
2 豊かな生活を育む住宅地の形成をめざします	4-22
(1) 住んで楽しい住宅地の形成	4-22
(2) 周辺のまちづくりと一体となった住宅団地の建て替え	4-23
(3) 密集住宅市街地の改善	4-23
(4) 高規格堤防（スーパー堤防）整備とあわせた良好な市街地の形成	4-23
(5) 地域商店街のまちづくり	4-24
(6) 高齢者や障害者、子育て世帯を始め、誰もが住み続けられるまちの形成	4-24
(7) 幹線道路沿道の土地利用の改善	4-24
(8) 特に計画的な住宅市街地の整備・開発が必要な重点地区	4-24
3 地域特性を活かしたまちをめざします	4-24
(1) 文化資源の集積を活かした川崎駅西口周辺地区のまちづくり	4-25
(2) 歴史や文化を活かした加瀬山周辺のまちづくり	4-25
(3) 地域の自然を活かしたまち	4-25
(4) 地域の産業を活かしたまち	4-25
(5) 住工調和のまちづくり	4-25
(6) 都市農地と住宅地が調和したまちづくり	4-25
4 地区コミュニティを活かしたまちを育みます	4-26
(1) コミュニティ活動を支える場づくり	4-26
(2) 身近な商店街のまちづくり	4-26
<土地利用の区分>	4-27

交通体系

1 幹線道路のネットワーク形成をめざします	4-31
(1) 広域調和・地域連携型の都市構造を形づくる幹線道路網のあり方	4-31
(2) 広域幹線道路網の整備	4-33
(3) 市域の各拠点を結ぶ幹線道路網の整備	4-33
(4) 交通ボトルネックの解消	4-34
(5) 踏切除却による交通の渋滞や地域の分断の解消	4-34
2 歩行者・自転車・自動車が共存する安全で快適な生活道路の整備をめざします	4-34
(1) 歩行者・自転車・自動車が共存する安全な道路整備	4-34
(2) 密集住宅市街地の狭い生活道路の改善	4-34
3 環境に優しい道路づくり	4-35
4 人に優しい道路づくり	4-35
5 公共交通のネットワーク形成をめざします	4-36
(1) 鉄道の利便性の向上	4-36

- (2) 地域交通の改善とバス交通の利便性の向上 4-37
- (3) 自転車利用の促進、自転車と共生するまち 4-37
- (4) 適切な駐車場の整備 4-37

都市環境

- 1 多摩川の水辺空間の保全と活用 4-39
 - (1) 区民に身近な自然環境づくりと区民が楽しめる親水空間づくり 4-39
 - (2) 市街地から多摩川へのアクセスの向上 4-39
- 2 鶴見川・矢上川の水辺空間の活用 4-40
- 3 身近な水辺の整備 4-40
- 4 緑の拠点としての既存公園の整備と身近な緑の創出 4-41
 - (1) 計画的な公園・緑地の配置と方針 4-41
 - (2) 緑の拠点としての御幸公園の整備 4-41
 - (3) 豊かな自然環境や景観を活かした夢見ヶ崎公園の整備 4-41
 - (4) 生活に身近な公園の整備 4-41
 - (5) 街なかの緑化による水・緑のネットワークづくり 4-42
- 5 地域特性を活かした豊かな街なみづくりをめざします 4-42
 - (1) 川崎駅西口地区の街なみづくり 4-42
 - (2) 新川崎・鹿島田駅周辺地区の街なみづくり 4-42
 - (3) にぎわいと調和の取れた街なみづくり 4-43
 - (4) 住宅地の街なみづくり 4-43
 - (5) 地域の自然や文化資源を活かした街なみづくり 4-43
 - (6) 幹線道路沿道の街なみづくり 4-43
- 6 人と環境が共生するまちを育みます 4-43
 - (1) 自動車公害対策の推進 4-43
 - (2) 市民の快適な生活環境の創造 4-44
 - (3) 環境に優しい循環型のまちづくり 4-44
 - (4) 都市の安全、快適な環境づくりをめざした下水道の整備 4-44

都市防災

- 1 災害に強い都市構造の形成をめざします 4-46
 - (1) 震災に配慮した土地利用の推進 4-46
 - (2) 震災に強い市街地の形成 4-47
 - (3) 風水害に強い都市環境づくり 4-47
 - (4) 都市施設の防災性向上 4-48
- 2 安全に避難できるまちをめざします 4-48
 - (1) 地域防災拠点の整備 4-48
 - (2) 消防署の整備 4-48
 - (3) 避難対策の確立 4-48
 - (4) 避難路の安全性の確保 4-48
- 3 地域コミュニティにおける災害に強いまちを育みます 4-49